

画像診断検査における画像の適正化に関する研究

●はじめに：

画像診断機器（CTやMRIなど）の普及や発展により、がんの早期発見や薬剤の治療効果判定などに役立っています。また装置の新規導入時には、新たな画像再構成方法が可能となることがあります。我々は、患者さんの画像情報を基に、画質の検証を行い、処理方法を適正化し、診断能を向上させるための研究を行っています。

●対象：

当院を受診し、平成22年4月1日から平成30年3月31日までに画像検査を受けられた患者さんが対象です。

●方法：

- ・通常の診療で得られる検査結果と撮影される画像データを使用します。
- ・新たな追加検査をすることはなく、患者さんに余分な費用や危険は生じません。

●個人情報について：

- ・個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報は削除しています。
- ・研究結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。
- ・研究の目的以外に患者さんのデータを用いません。

●当院を受診し平成22年4月1日から平成30年3月31日までに画像検査を受けた患者さんで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。

●研究期間：病院長承認日から平成30年3月31日まで。

●医学上の貢献：

研究結果は、画像検査の画質および診断能向上につながり、安全で質の高い治療に貢献することが期待されます。

●問い合わせ先

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 放射線診断科

研究責任者 畠中正光

研究分担者 玉川光春、山直也

平日：tel) 011-611-2111(内線3500)

夜間・休日：fax) 011-621-8059（休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい）